

たくさんの人が  
「同じことを考え」ていても  
各自自分の考えを出し合うと  
当然ひとりひとりの表し方は違うから  
その場にたくさん、少しずつ「違う考え」が集まってくる  
そうすると  
ひとりひとりが、出てきたたくさん考えを自分なりにまとめて  
各自それなりに納得できる「私の今の考え」にたどり着く  
ひとりひとりの「今の考え」は  
いずれまた  
たくさんの人たちの考えや新しい見方に触れて考え直されて  
変わってゆくし、多分、もっと良くなる  
学ぶとは、こういうことの繰り返し  
だから、誰でもいつでも学んでいるし  
誰の学びにも終わりが無い

三宅 なほみ

---

自治体との連携による協調学習の授業づくりプロジェクト

令和2年度活動報告書

「協調が生む学びの多様性 第11集—学習科学とテクノロジーが支える新しい学びの未来—」

執筆・編集 白水始 飯窪真也 齊藤萌木 三宅なほみ

執筆協力 堀公彦 大屋聡佐 天野拓也 相良好美

令和3年3月15日

---

この報告書に関するご意見・ご感想をお待ちしています。

本報告書及び付属DVDの内容を無断で複製、転載することはご遠慮ください。

〔連絡先〕 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1  
東京大学 高大接続研究開発センター 高大接続連携部門  
CoREFユニット  
TEL 03-5841-3682 Email [contact@coref.u-tokyo.ac.jp](mailto:contact@coref.u-tokyo.ac.jp)